

社協だより

7.15

2018 No.75

〒876-0823 大分県
佐伯市7255番地13
社会福祉センター
TEL0972-24-2956
FAX0972-22-9031

SAIKI SHAKYO

編集・発行 社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会
E-mail/sashakyo@saiki.tv HP/http://www.sashakyo.or.jp



この夏、ボランティアをしてみよう! 夏のボランティア体験月間

7/21~8/31まで

～ボランティアの声～

- 将来の夢が保育士なので勉強になった
- とてもよい経験になった
- ボランティア活動が就職に繋がりました!
- など



今年も、みなさんの笑顔を待っています 😊

～ボランティアセンターからのお願い～

社協への事前の申込みと、ボランティア活動保険(200円)の加入をお願いします。

現在、申込み受付中!

【夏のボランティア体験月間の問い合わせ】

佐伯市ボランティアセンター

TEL: 22-2150 担当: 小野

※最寄りの社協にあるパンフレットや佐伯市社会福祉協議会のH.P.に受入施設の情報が載っています。



※写真は昨年の様子

目次

夏のボランティア体験月間 ……表紙	事業報告・決算報告 ……5	心配ごと相談・法律相談 ……7
社協ちびっ子フェスティバル ……2	地域づくり大作戦 ……5	豊寿苑花火大会お知らせ ……6
ひとしずくちゃん ……3	会費のお願い ……6	歳末たすけあい募金 ……8
看護だより ……3	香典返し ……7	大きな市の小さな物語 ……8
おでかけカメラ ……4	生活困窮者自立支援 ……7	編集後記 ……8
福祉人材センターからのお知らせ ……4	自動販売機 ……7	

第13回

遊んで、学ぼう!

社協ちびっこフェスティバル



とき：7月29日(日) 10時～14時30分 (雨天決行)

ところ：「三余館」

佐伯市社会福祉協議会では、子どもたちに遊びをとおして福祉に興味をもってもらいたいという願いを込めて、社協ちびっこフェスティバルを毎年実施しています。

オープニング

出演者
『チアリーディング
バービーズ』



水遊びコーナー

プールで遊ぼう!

※着替えを持って来てね!
未就学児対象



福祉体験コーナー

- ※点字体験
- ※アイマスク体験
- ※手話体験
- ※担架づくり
- ※高齢者疑似体験

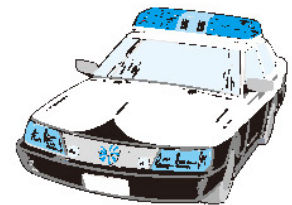
チャレンジコーナー

- ※佐伯鶴城高校生による科学の不思議体験
- ※脳がめざめる色鉛筆アート/プラ板ブローチ
- ※色彩を楽しもう/ケルンモザイク体験
- ※折り紙教室
- ※段ボールアート
- ※キラキラはり絵作り
- ※お茶席



働く車体験コーナー

自衛隊のジープ
(服の試着もできるよ!)
・救急車 ・パトカー



無料配布コーナー

- ・かき氷
- ・ポップコーン

※いずれも数に限りがあります。



スタンプラリー
スタンプももらって
「ひとしあくちゃん
グッズ」ゲット!

【問い合わせ】
佐伯市社会福祉協議会
TEL 22-2150 担当 岩木・下岡

ひとしずくちゃん パークプレイスに登場!!

4月28日、佐伯市社会福祉協議会のキャラクター『ひとしずくちゃん』がパークプレイスの誕生祭に参加しました。県内各地から総勢15キャラクターが集まり、たくさんの人たちと触れ合い、社協のPRを行いました。



ひとしずくちゃん
です。よろしくね♡



看護だより

熱中症

熱中症のこわいところ……

急に高熱になり、高熱がその日のうちに治まったとしても、体の抵抗力は落ちており、熱中症に罹りやすい状態になっています。休養しながら過ごすことが大切です。めまい・ふらつき・たちくらみ・疲労感などの症状でも短時間で重症化する恐れがあります。

予防するために……

- ① 喉の渇きを感じる前にこまめな水分補給
- ② エアコンなどを上手に使う
- ③ テレビなどの熱中症情報に目をむける
- ④ 外出時は日陰を歩き、日よけ対策をする
- ⑤ 無理をせずに適度な休息をとる
- ⑥ 寝ている間も水分は失われるため、寝る前の水分補給を心がける
- ⑦ バランスのとれた食事・十分な睡眠・適度な運動を心がける



対応方法として……

- ① 熱中症の時は、水分だけでなく、塩分も補給する事で症状が重くなるのを防ぎます。
- ② 嘔気や嘔吐の症状がある際は、無理に水分を飲ませないで下さい。
- ③ 意識が無い時、自力で水分の摂取が出来ない時は救急車を呼ぶか、医療機関に搬送する事が最優先の対処方法です。

言葉は「みんなで食べたらおいしいね！」

あどかけ
カメラ
No.21

＊どっぼちゃん食堂＊

今回のお出かけカメラは、6月2日に佐伯市内で初めてオープンした「子ども食堂」にお伺いしました。

「子ども食堂」は、“ごはん”を通じて「食育や学習の支援」「子どもと地域を繋げる」など、子どもの居場所作りとして全国的に広がっています。今年2月に佐伯市社協で開催した「子ども食堂立ち上げ研修会」に参加した方々が繋がり、7人のメンバーで『どっぼちゃん食堂』を立ち上げました。食堂の名前の由来は、明治の昔、かの文豪・国木田独歩が週に数回通った場所が今回の拠点になっていることからきています。

「どっぼちゃん食堂」代表者の戸山恵子さんにお話を聞いてみました

●オープン当日の感想は？

戸山さん：100名をこえる地域の子どもや大人が、みんなで食事をしているのを見て、ハラハラ・ドキドキしながらも、昔の食卓を思い出し、嬉しさで胸がいっぱいになりました。

●来客した方々からの言葉で嬉しかったことは？

戸山さん：6歳のお子さんが笑顔で、「カレー食べるの、おしくらまんじゅうしてるみたいやあー。」との言葉が嬉しかったです！みんなで食べると笑顔が広がりますね！

●地域の皆さんに一言！

戸山さん：今回の『どっぼちゃん食堂』は佐伯市内の企業や農家、高校生ボランティアなど、多くの方々のおかげでオープンに繋がりました。本当にありがとうございます。子どもたちだけでなく、地域の皆さんも、ぜひ食べに来てくださいね！みんなで食べたらおいしいね！

『どっぼちゃん食堂』は毎月第1土曜日11時より、日本基督教団佐伯教会（中村北町）にてオープンしています。

【問合せ先】戸山代表 TEL：090-2516-7265



おいしい〜♪
また、きたい!

鶴城高校のボランティア



大分県福祉人材センターからのお知らせ

2018年夏 福祉のしごと就職フェア

福祉の仕事をめざす方の就職活動を応援します。福祉事業所の採用担当者から直接話を聞けるチャンスです。参加費は無料です。

と き：平成30年8月5日(日) 13:00~16:00

と ころ：大分県社会福祉介護研修センター
(大分市明野東3-4-1)

内 容：就職面談、各種相談
(無料託児コーナーあり)



介護の職場を体験してみませんか!

～あなたのやさしさがきっと活かせる～

介護の仕事に関心をお持ちの方であればどなたでも結構です。参加費は無料です。

体験期間：6月1日(金)～翌年2月28日(木)のうちおおむね3日間(ご本人の希望を尊重)

体験場所：県内の介護施設

申込み・問い合わせ：大分県福祉人材センター又は各ハローワーク・市町村の窓口を設置している所定の「申込用紙」にてFAX申込み

締 切：体験希望日の10日前まで

【問い合わせ】大分県福祉人材センター TEL 097-552-7000 FAX 097-552-7002

日本一地域福祉課題が 少ないまちを目指します



平成29年度
事業報告

平成29年度 収支決算報告

●収入の部

(単位:円)

会費収入	8,430,690
寄附金収入	6,371,084
経常経費補助金収入	84,489,328
受託金収入	157,157,308
貸付事業収入	393,800
事業収入	26,385,304
介護保険事業収入	655,278,769
障害福祉サービス等事業収入	27,509,145
受取利息配当金収入	243,080
その他の収入	4,484,723
積立資産取崩収入	52,594,800
その他の活動による収入	18,239,160
資金収入合計	1,041,577,191

●支出の部

人件費支出	719,638,802
事業費支出	217,988,522
事務費支出	6,230,713
貸付事業支出	170,000
共同募金配分金事業支出	4,288,122
助成金支出	7,959,605
負担金支出	54,142,650
その他の支出	135,549
流動資産評価損等	160,000
積立資産支出	811,496
その他の活動による支出	20,738,650
資金支出合計	1,034,572,417

平成30年5月30日に理事会、6月18日に評議員会が開催され、平成29年度の事業報告と決算報告が承認されました。

まず総務課から、①会務の運営、②中期的な財政基盤の確立に向けた取り組み③社協会費の状況など、8項目が報告されました。

次に、地域福祉課より、行政の地域福祉計画に基づいた社協の地域福祉活動計画に沿って、①ふれあい・いきいきサロン事業の推進、②地区社協事業の推進、③生活支援体制整備事業(地域づくり大作戦)④大規模災害に対応できる仕組みづくり、⑤生活困窮者自立支援相談事業など、12項目が報告されました。

特に、「生活支援体制整備事業(地域づくり大作戦)」の項目では、地区社協毎に取り組み状況が報告されました。また、子ども食堂の立ち上げ研修会

開催により30年度佐伯市で初の子ども食堂開設につながったと報告されました。

次に在宅福祉課より、①介護保険事業の状況、②障がい者を対象とした事業、③受託事業の状況などが報告されました。

介護保険関係事業では、利用者の減少に伴う事業所の統廃合や、電気供給事業者の変更による電気料金の削減の取り組み等が報告されました。

最後に、施設福祉課より特別養護老人ホーム「豊寿苑」の状況が報告され、要介護3以上の方が入所者の93・7パーセントをしめていること、職員のスキルアップ研修や感染症対策に力を入れてきたことなどが報告されました。

詳細については、当会ホームページ(<http://www.sashakyorjo.jp>)に掲載しています。

シリーズ 地域づくり大作戦 ④

⇒宇目つくし隊<⇒



宇目地区は高齢化率が51.3% (H30.5月末現在) と非常に高く、高齢で一人暮らしの方も多く生活されており、これまでに以上に住民同士の支えあいが求められています。

これからも住み慣れた地域で「安心して生活をしてほしい」「誰かの困り事をなんとかしたい」「宇目のためにつくしたい」という想いも込めて「宇目つくし隊」が発足しました。

現在は、具体的な取り組みを検討するため「お困り事の聞き取り調査」を行っています。

宇目地区に在住の方で、「足腰が痛くて、ゴミ出しが難しい」「気軽に話ができる居場所がほしい」など、困っている事・お手伝いしてほしい取り組みなどありましたら、お気軽に連絡ください！

連絡先：佐伯市社協宇目支部 TEL 39-6789 担当 中村



社協会費に ご協力おねがいします!!

29年台風18号被害への
支援を実施



地域、学校で
防災に関する仕組みづくり



避難所体験の様子

社会福祉協議会（社協）は、社会福祉法第一〇九条に規定された『地域福祉の向上を目的とした事業』を行う民間の福祉団体で、全国に設置されています。
皆さまにご協力いただく社協会費には、市民の皆さま一人ひとりが『ふくしのまちづくり』を進める主体として、地域福祉活動に参加していただくという意味があります。
今年度も社協の事業活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

私たちは、市民の皆さまとともに
『日本一地域福祉課題が少ないまち』をめざします

一般会費	一口 500円
賛助会費	二口以上（社協活動を特に支援する方）
団体会費	二口以上（企業・団体など）

社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

〒876-0823 佐伯市7255番地13 ◆本部（代表24-2956）

●本部（地域）・佐伯支部 22-2150

●上浦支部 32-3395

●本匠支部 57-6065

●直川支部 58-2041

●米水津支部 36-7910

●弥生支部 46-3136

●宇目支部 39-6789

●鶴見支部 33-7003

●蒲江支部 42-0154



香典返し

(住所)	(寄付者)	(故人)
【佐伯】		
津志河内区	三股 時枝 様	三股 照雄 様
岸河内区	川野 郁雄 様	川野 吉明 様
中村南町	古賀 民子 様	古賀 正人 様
泥谷区	藤島 恵子 様	藤島 勝人 様
東町	山田 愛子 様	山田 久 様
中の島	佐脇 保 様	佐脇 一子 様
常盤南町	河野 真木 様	河野 秀雄 様
府坂区	平岡 信也 様	平岡 勝代 様
門前区	宮本 孝憲 様	宮本 キヨ 様
藤望区	高野津多子 様	高野 幸人 様
宇山区	富永 眞光 様	富永千恵子 様
泥谷区	田村恵一郎 様	田村キクヨ 様
西野区	疋田 定 様	疋田チトシ 様
膝干区	石田 久則 様	石田ヒサ子 様
女島区	川野 克則 様	川野シズ子 様
東町	松岡伸一郎 様	松岡 繁子 様
匠南区	川野 博康 様	川野 康雄 様
【上浦】		
津井浦	東 裕恵 様	東 カズミ 様
【弥生】		
尺間	狩生 敏夫 様	狩生 絹子 様
江良	高野 広樹 様	高野 清 様
上小倉	河津 延雄 様	河津マツ子 様

(住所)	(寄付者)	(故人)
【本匠】		
笠掛	柴田 哲郎 様	柴田 ノブ 様
【宇目】		
重岡	波多 充子 様	波多 昭英 様
【直川】		
上直見	宮下 孝雄 様	宮下ヒデ子 様
横川	近藤 和彦 様	近藤 均 様
下直見	甲斐 忠雄 様	甲斐 セツ 様
【鶴見】		
地松浦	山田 一之 様	山田キミ子 様
【米水津】		
浦代浦	広田 三保 様	黒澤美千代 様
色利浦	山田わか子 様	山田 平作 様
色利浦	蛭子イチ子 様	蛭子 一男 様
竹野浦	木村 大輔 様	木村 フサ 様
宮野浦	佐藤久美香 様	佐藤 磨喜 様
宮野浦	赤江 富代 様	赤江 隆 様
【蒲江】		
山口県岩国市平田	山内 逸郎 様	山内カツエ 様
蒲江浦	川野 豊 様	川野 長次 様
一般寄付		
江良	佐伯四国八十八ヶ所巡拝の会 様	
鶴岡町	カラオケステージさくら 様	

寄付のお礼

次の方々から、ご寄付をいただきました。
紙面掲載にてご報告のうえ、心より厚くお礼申し上げます。
(受付期間：平成30年4月18日から平成30年6月15日)

生活困窮者 自立支援事業

暮らしのことや仕事のこと
で不安や困りごとがある
場合、相談してください。
相談は無料です

相談から自立まで継続して支援します
～ひとりで悩まないで～

一緒に暮らす
息子が引きこもっ
ている。自分も
高齢な為、将来
が不安。

仕事をしたいけ
ど働けるか心配。
自分にあった仕
事がみつからない。

家計のやりくり
がうまくできず、
保険料や公共料
金が払えない。

母親の介護の
ことが気にな
って仕事を続
けられるか不
安。



【問い合わせ】佐伯市くらしサポートセンター「きずな」
(佐伯市社協内) 電話 23-7450

地域福祉のための自動販売機増えています

佐伯市社会福祉センター(佐伯市7255番地13)内
に3台目となる「地域福祉のための自動販売機」を
設置しました。

売り上げの一部が地域福祉事業に還元される仕組
みとなっています。

1台目

佐伯市社協 介護保険
サービスセンター
「まごころ」
(弥生、明治小学校前)

2台目

佐伯市上浦地域
福祉センター敷地内



無料 民生委員による 心配ごと相談会

日頃の生活の中でおこる些細な出来事の相談等、内容は
問いません。お気軽にお越しください。

担当支部	日付	時間	会場
佐伯	9/ 5(水)	13:30~16:00	社会福祉センター
蒲江	8/15(水)	9:00~12:00	蒲江地区公民館

要予約 弁護士の法律相談

日付	時間	弁護士	会場
7/19(木)	13:30~16:00	西山 巖	社会福祉 センター
8/16(木)	13:30~16:00	渡辺法律事務所	
9/20(木)	13:30~16:00	西山 巖	

※弁護士費用は、社会福祉協議会が負担いたしますので、無料です。
■お問合せ：佐伯市社会福祉協議会 (TEL.23-7450 担当 渡辺まで)

第40回 豊寿苑

盆踊り・納涼花火大会

佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑にて、恒例の盆踊り・納涼花火大会が行われます。2,000発あまりの花火が、夏の夜空を彩ります。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日時 8月18日(土)

18時45分～20時30分

※雨天の場合は8月21日(火)に延期

場所 豊寿苑グラウンド



〈お問い合わせ〉

佐伯市社会福祉協議会 豊寿苑
TEL 46-2226 渡邊まで

歳末たすけあい募金

助成金申請の受付開始

年末年始にかけて、地域のお年寄りや子どもたち・要介護者等に対し、歳末たすけあい運動の趣旨に沿った事業を実施する団体、広域的に活動する福祉団体の事業費または活動費の一部を助成し、活動を支援します。

事業内容や予算等を審査し、助成金事業等募集要項により決定します。

詳しい内容につきましては下記までお問い合わせください。

●募集期間

平成30年7月17日(火)～8月31日(金)

●お問い合わせ

TEL 22-2150 担当 三原

大きな市の小さな物語

私たちの住む佐伯市は九州で一番大きい市です。そんな大きな市の中で起きた小さな物語。

家族愛

いつもの様に夕食の準備をするため、鍋の蓋を持ち上げた瞬間、蓋を落としてしまい、流し台の前に座り込んでしまった。右半身がマヒし、立つ事も座ることも出来ず、家族に助けを求めた。私の姿を見るなり子どもが、まるで医師の様に、問診・触診を始める。孫は救急車を呼び、嫁は毛布を掛けるよう指示を出す。何とも素晴らしい連携プレイ……。

病院で色々な検査を終え、異常がない事がわかった。診察室を出ると、寒い中、待合室で家族全員が待っていてくれた。これぞ家族愛！やがて来るであろう老後に明るい兆しが見えた。

鶴見 W.N



投稿募集

「大きな市の小さな物語」

おハガキ、封書、メール何でもOK
(住所・氏名・TELをお忘れなく)
感動物語、かわいい物語、うれしい物語、大笑いする物語、悲しい物語など、身のまわりで起きた出来事を聞かせてください。

【宛先】〒876-0823 佐伯市7255番地13
佐伯市社会福祉協議会内 広報係
TEL: 24-2956
Eメール sashakyo@saiki.tv

【募集締切】 8月10日(金)必着

【応募作品について】

厳正なる審査のうえ社協だより9月15日号に掲載予定です。尚、採用された方には佐伯市社協イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」のグッズをプレゼント。



編集後記

6月のとある日、「よーい、ピンポンせんか？ピンポン会をつくろうと思うんじゃ。」

「ピンポン？」「そう、卓球じゃないんよ。ピンポンよ。」そうやって声をかけられ、始まったピンポン練習。運動と無縁になってもう随分と経過する。

初日は自己紹介から始まり、何と会長、事務局、会計までの顔ぶれが決められていた。なんかすごい会になりそう……。

今までの運動不足の解消と、今後の体型維持？(できれば下腹部のへこみ、欲を言えばウエストのくびれがでさ) そんな目標をかすかにいただき、週1回のピンポン練習を楽しんでいきたい。どうか3日坊主になりませんように！

くるみ